

# ブレンド



JR東日本輸送サービス労働組合  
東京総合車両センター支部

2020.11.13 No.14

## 2020年度

# 年末手当妥結！！！！

### MAIL NEWS

JR東日本輸送サービス労働組合  
JR EAST TRANSPORT SERVICE WORKERS UNION  
2020.11.13  
NO. 099



## 2020年度年末手当に関する申し入れ

### 19時00分

## 申11号交渉回答を受け 意見書を提出し

基準内賃金の

# 2.2 箇月 **妥結**

2020年度年末手当回答に対し、「JR東日本グループで働く全ての仲間」の「いのち」「雇用」を守り、安全で安心な輸送サービスをつくりだすための意見書

1. JR東日本は鉄道会社という公共性が高い企業であるからこそ、JR東日本で働く社員、JR東日本を利用する地域の方々など「人」を大切にしている経営方針を確立し「健全経営」を実現すること。
2. コロナ禍における経営危機を乗り切るために、人件費削減を通じた黒字化を目指す経営姿勢をあらためること。また、JR東日本の本業である鉄道事業に力をつけるために「人」と「モノ」への投資を実現し「収入とコスト構造」の最適化を図り、職場の負担を解消すること。
3. 安全性・専門性を蔑ろにする非人間的なジョブローテーション異動を直ちに中止すること。また、休日出勤の増加に伴うコスト増と職場に強要するコスト削減の矛盾を解消し、社員一人ひとりの労働意欲を向上させること。
4. 赤字決算から脱却するまでの間、役員報酬の50%削減および業績連動報酬を全額返上すること。
5. 「文藝春秋」で指摘されているJR東日本経営陣の「企業の私物化」と「政治介入」に対する見解を示し、JR東日本会社の信頼を失墜させる行為を行った責任の所在を明らかにすること。
6. 新型コロナウイルス感染症拡大の懸念から、エッセンシャルワーカーとしての責任と使命を果たすために、全社員へのPCR検査を会社が責任をもって行うこと。
7. 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から変更をしている業務委託（スーツ交換など）については、新型コロナウイルス感染症拡大の懸念が払拭された際、直ちにコロナ以前の取扱いに戻すこと。

**過去最低の年末手当支給額で社員への還元率はJRグループで最低！**

**未来を切り拓くためにも「人材」への適正な投資を求め続けます！**

総対話行動をはじめとする皆さんの取り組みに感謝します。  
コロナ禍のなかでも鉄道事業者としての使命を果たし  
安全安定輸送と良質な輸送サービス、車両の提供に奮闘しよう！